

第23回
NHKハート展

名古屋展

詩からアートへ。
ともに生きる。

2019年2月1日(金)ー2月13日(水)
午前10時ー午後9時

セントラルパーク セントラルギャラリー **入場無料**

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-15-13 先 セントラルパーク地下街内 ※地下鉄「久屋大通」駅南改札口すぐ

23RD HEART EXHIBITION

主催／NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団、NHKサービスセンター、全国社会福祉協議会

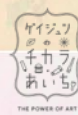
後援／内閣府、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会

協力／王子製紙株式会社、アート村、NHK出版

問い合わせ／NHK名古屋放送局 視聴者センター

電話 052-952-7111 (平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前10時～午後6時)

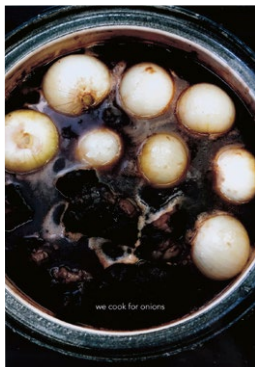
NHKハート展ホームページ <http://www.nhk-sc.or.jp/heart-pj/art/heart/>



あいち
アール・ブリュット

パートナーシップ事業

23回目となる今回は、全国から4,084編の詩が寄せられました。その中から選ばれた50編の詩に、料理研究家の土井善晴さん、漫画家の高橋陽一さん、女優の奈緒さんなど、など、各界の著名人やアーティスト50人から、心温まるアート作品をお寄せいただきました。50編の詩が50のアートと出会い、新たなアートの世界を繰り広げます。



土井善晴 料理研究家

父の思い出
「学校まで送りたい」
「勉強よりでまゐるのに」
父は一言「鏢」を研ぎ始めました。
父と真似て草を刈りました。
「ふみらん上や、お父さんより上や」
中学を卒業して、草を刈る人として
生きたいと田舎にまゐった。
十四歳です。



奈緒 女優

母は難た。
母は駆けなくなる。私の身体を拭いてくれる。
まるで薬石を洗うかの様だ。荒々しむ。
ゴシゴシゴシゴシ
あまりの難さに「痛い」と叫ぶと
母は私に笑顔でこう言う。
「大丈夫。私は痛くないから!」
ああ。母よ。
貴女は今日も景色を頼た。
それは優しさという名の難さ。



柳家花緑 落語家

かみのかきゝったよ
せんせいママ
かみのけきゝったよ
ぼくこままと
いんとつにんで
まににうつまた
うにんや!
ぼくこままときねもよかに
なつたよ!
りんごをむじり
まねるよかににや
まにんや?
すていしよ



高橋陽一 漫画家

青木崇高、赤羽美和、アライマサト、石川真澄、犬山紙子、井上マー、上田藍、大谷リュウジ、大野涼菜、岡田ひとみ、加藤休ミ、加藤諒
河島あみる、北川原温、久住昌之、KEI、こうぶんこうぞう、GOMA、桜沢エリカ、佐竹未有希、佐藤時啓、佐野ぬい、サヘル・ローズ
茂本ヒデキチ、じゅんいちダビッドソン、そら、小島遊しほ、高橋陽一、土井善晴、泊明、TOMOYA、豊嶋愛生、奈緒、中川晃教、長屋明
早田龍輝、原高史、原田裕子、深井聡一郎、船原七紗、Maaya Wakasugi、maegamimami、ミシエル・カーラー、三宅信太郎、森田秀昭
柳家花緑、吉田類、ラブリ、Ribbonesia、分島花音